

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (看護技術とは)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1年前期 2022年4月18日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・ 看護技術：2時間 ・ コミュニケーション：14時間 ・ 感染看護：10時間 ・ 事故防止：4時間
担当講師名	山本 穰	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	看護実践に必要な基礎看護技術の意義と心構えを学ぶ		
到達目標	今後学習する基礎看護技術の概要と、それらを学習する意義、学習するための心構えを知る		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	本単元に関する試験等は実施しないため評価しない		
使用教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 (第18版第2刷、医学書院) 2. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3 (第18版第2刷)、医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	看護技術を学ぶにあたって 看護技術の根底をなすもの		講義
履修上の留意点	講師から問いかけられたら何かしら反応してほしい		

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (感染看護)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年次前期 令和 4 年 5 月 9 日	単位数/時間	1 単位/30 時間のうちの 10 時間 本科目は以下の 4 単元で構成される ・ 看護技術とは：2 時間 ・ コミュニケーション：14 時間 ・ <u>感染看護：10 時間</u> ・ 事故防止：4 時間
担当講師名	吉川 百合江	所属・役職	宮古県立宮古病院・看護師長補佐
		資格・免許	感染管理認定看護師
授業の概要	感染症の基礎知識、標準予防策を含む感染防止策の基本的な考え方と技術を学ぶ		
到達目標	1. 感染症の基礎知識を理解できる 2. 感染防止策を理解し実践できる		
事前学習内容	授業内容に関連した教科書の内容を見る		
成績評価の方法	試験(40 点分) 本科目は 3 単元(コミュニケーション(50 点)+感染看護(40 点)+事故防止(10 点)) の合計 100 点満点で評価し、3 単元合計の得点が 60 点未満の場合は全単元が再試験の対象となる		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ (医学書院)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	感染とその予防の基礎知識、標準予防策		講義
第 2 回	感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、無菌操作		
第 3 回	感染性廃棄物の取り扱い、針刺し防止策、医療施設における感染対策		
第 4 回	手指衛生、個人防護用具の着脱		演習
第 5 回	滅菌物の取り扱い		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける		

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (事故防止)	分野/教育内容	専門分野Ⅰ/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 令和 4 年 5 月 6 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ 看護技術：2 時間 ・ コミュニケーション：14 時間 ・ 感染看護：10 時間 ・ <u>事故防止：4 時間</u>
担当講師名	山本 穰	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	医療事故、事故防止への取り組みの概要を理解し、事故防止策と安全管理を学ぶ		
到達目標	1. 医療事故の発生要因を理解し、事故防止策の基本を知る 2. 看護師が当事者となる事故にはどのようなものが多いか、看護業務の特性と併せて知る 3. 事故防止のために講じるべき対策を知る		
事前学習内容	事前に教科書の「第 3 章 安全確保の技術」に目をとおしておく		
成績評価の方法	本単元の配点は 10 点(筆記試験)である。 本科目は 3 単元の合計 100 点(コミュニケーション 50 点+感染看護 40 点+事故防止 10 点)の中の得点で成績が決まる。本科目の 3 単元の合計点が 60 点未満/100 点の場合は、3 単元全て再試験となる		
使用テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学 2 (第 18 版第 2 刷、医学書院) 2. 看護技術プラクティス(第 4 版第 1 刷、学研メディカル秀潤社) 3. 医療安全ワークブック(第 4 版第 4 刷、医学書院)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	医療事故発生のメカニズム(ヒューマンエラー)		講義
第 2 回	医療事故防止策(誤認防止、誤薬防止、転倒・転落防止等)		
履修上の留意点	1. 授業中に指名されたら何かしら反応する。分からなくても何かしらの反応を示す 2. 将来医療従事者として勤務することを意識し、医療事故を起こすのは「明日は我が身」として捉え、授業に臨んでほしい		

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (コミュニケーション)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2022 年 4 月 19 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ 看護技術：2 時間 ・ コミュニケーション：14 時間 ・ 感染看護：10 時間 ・ 事故防止：4 時間
担当講師名	山本 穰	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	1. コミュニケーション能力を身につけるために、まずは自分自身の思いを言語や行動で表現することの意義を理解する 2. よい看護実践に必要な、患者と看護師間の意思の疎通と信頼関係を成立・発展させるためのコミュニケーション技術を習得する 3. 演習をととして、自分のコミュニケーションに関する課題を認識する		
到達目標	コミュニケーションの基本を学び、看護実践の場におけるコミュニケーションの方法を習得する		
事前学習内容	これまでの生活の中での対人関係をふり返しておく		
成績評価の方法	本単元の配点は 50 点＝①出席点：1 コマ/点×7 コマ＝7 点＋②筆記試験 40 点＋③演習時の態度 3 点)－④授業態度が不良な場合に注意されたら都度 1 点 ※ 本科目は 3 単元の合計 100 点(コミュニケーション 50 点＋感染看護 40 点、事故防止 10 点)の中の得点で成績が決まる ※ 本科目の 3 単元の合計点が 60 点未満/100 点の場合は、3 単元全て再試験となる		
使用教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 基礎看護学 2 (第 18 版第 2 刷、医学書院)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1・2 回	本単元のオリエンテーション ループで自己紹介 自分の意思を相手に伝える演習		演習
第 3・4 回	コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの構成要素と成立過程 関係構築のためのコミュニケーションの基本		講義
第 5・6 回	効果的なコミュニケーションの実際		演習
第 7 回	コミュニケーション障害への対応		講義
履修上の留意点	1. これまでの生活の中での親しい間柄でのコミュニケーションだけではなく、学生・社会人・看護者としてのコミュニケーションを学ぶ 2. 授業の内容をふまえ、学校生活を含め、普段の生活でのコミュニケーションの方法に注意する 3. 授業の中でグループで話し合ってもらい機会がある。相手の考えを尊重しながら建設的な意見を出す 4. 普段の生活から人に関心をもち、相手のことを知る・わかる、自分のことを知って・わかってもらおうとする気持ちをもつ		